

平成 23 年番組審議委員会議事録

日時：平成 23 年 6 月 7 日 13 時 45 分～15 時 20 分

場所：高槻商工会議所 3 階特別会議室

参加者：< 審議委員 > 柿原、中川、竹本、高須 (欠席) 桑内、柏内、長井  
吉原、谷村、平野、大林、遠藤 (議事) (敬称略)

1) 報告事項

- 1-1 会社概況・サービス概況報告 (吉原)
- 1-2 コミュニティチャンネル概況報告 (谷村)
- 1-3 番組視聴「街かどほっとらいん」

2) 審議 (ご意見・ご要望)

2-1 お褒めの言葉

ケーブルテレビ賞を受賞した「わがまち探偵団」は、10 年も前から見ている番組なので表彰されるのは自分の家族のように嬉しい。

競合他社との圧倒的に差別化が図れるのは「地元密着」である。CATV ならではの地域住民を巻き込んだの番組作りを継続してほしい。

「ぶらり市バス紀行」は新しい発見があり、面白い番組である。

MBS ラジオを CATV で流す試みは発想が面白い。

2-2 ご意見・ご要望

昼間 TV を視聴している方は年配の方が多いため、この点を考慮した番組の充実を図って欲しい。

町の選挙、特に市議会議員選挙はもっと徹底的に CATV でとりあげてほしい。そうすれば選挙も盛り上がり更には CATV の価値も上がる。

毎日 CATV にてスポットで 10～15 秒程度定時に「生まれた人、亡くなった人の情報」を伝えて欲しい。

途中から番組を見た人も主催者・内容がわかるようにテロップの表示をずっと入れていただきたい。

地域のことを皆さんがあまりにも知らないで、「地域を紹介する番組」「高槻の人をテーマにした番組」をドキュメントとして制作していただきたい。

地域での話題は子供のことが中心になるため、小学校や先生を紹介する番組を制作していただきたい。

情報 BOX ワイド高槻は名前が長く、わかりにくい。島本プラザの方がわかりやすく楽しそう。

放送の際の「音」に注意して欲しい。コメント中の BGM に歌詞が入っているのはよくない。

2-3 その他

高槻市で震災が起きた場合、コミュニティは形成されるのか？

今回の震災で人と人とのつながり (コミュニティ) についていろいろと考えることがある。

高槻市は大きすぎて一つのコミュニティにはなりにくい。

南北で地域性も異なり、人の出入りも頻繁にあるため。

島本町はちょうどいい大きさで、人と人との結びつきが強い印象を受ける。みんなが顔見知りである。

島本町では取材をしていても自然と人が寄ってくる感じがする。